

薬剤部責任者票

平成26年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成26年度調査）

チーム医療の推進等を含む医療従事者の負担軽減措置の実施状況調査

●特に指定がある場合を除いて、平成26年10月末現在の状況についてお答えください。

●数値を記入する設問で、該当するもの・実績等がない場合は「0」（ゼロ）をご記入ください。

1. 貴施設における薬剤師の各業務の実施状況等についてお伺いします。

①貴施設における平成26年10月1か月間の処方せん枚数をご記入ください。

1) 外来の院外処方せん	枚	2) 外来の院内処方せん	枚
3) 入院患者の処方せん	枚		

②インシデント数（平成26年10月1か月間）の件数をご記入ください。

1) 貴施設におけるレベル2 [※] 以上のインシデント数	() 件
2) 上記1)のうち、薬剤に関するインシデント数	() 件
3) 上記2)のうち、療養病棟又は精神病棟のインシデント数	() 件
4) 上記2)のうち、特定入院料を算定している患者のインシデント数	() 件

注. レベル2とは、国立大学病院医療安全管理協議会の影響レベルをいう。

③貴施設における無菌製剤処理業務の実施状況についてお伺いします。

1) 平成26年10月1か月間の実施件数 () 件

2) 診療報酬上の算定項目として該当するものは何ですか。※あてはまる番号すべてに○

1. 無菌製剤処理料1イ(1) 2. 無菌製剤処理料1イ(2)
 3. 無菌製剤処理料1ロ 4. 無菌製剤処理料2 5. 算定していない

【「1. 無菌製剤処理料1イ(1)」、「2. 無菌製剤処理料1イ(2)」と回答した施設の方】
 2) -1 閉鎖式接続器具を使用して調製している薬剤及び1個あたり納入価格を記入してください。

- a) 閉鎖式接続器具を使用して調製している薬剤名（一般名）：()
 b) 閉鎖式接続器具1個あたり納入価格：() 円/個（税込）
 c) 算定1回あたりの閉鎖式接続器具の使用数：() 個

【全ての施設の方】

3) 抗がん剤の無菌調製業務の主な実施者は誰ですか。※○は1つだけ

1. 薬剤師 2. 医師 3. 看護職員 4. 基本的に抗がん剤の無菌調製は実施していない

④貴施設における1) 病棟数、2) 薬剤師が配置されている病棟数についてご記入ください。 ※平成26年10月
 ※病棟薬剤業務実施加算を算定できない病棟（特定入院料を算定している病棟など）もすべて含めて記入してください。

	a) 施設全体	b) a)のうち、療養病棟・精神病棟
1) 貴施設における病棟数	病棟	病棟
2) 上記1)のうち、病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数	病棟	病棟

⑤平成26年10月時点において、**病棟薬剤業務実施加算**の施設基準の届出をしていますか。※○は1つだけ

1. 届出をしている 2. 届出をしていない (→質問⑥へ)

【「1. 届出をしている」と回答した施設の方】

⑤-1 貴施設では**療養病棟・精神病棟**で病棟薬剤業務を実施していますか。※○は1つだけ

1. 実施している病棟がある
2. 実施していない (当該病棟がない場合も含む) (→質問⑥へ)

【「1. 実施している病棟がある」と回答した施設の方】

⑤-1-1 貴施設では、9週目以降も**療養病棟・精神病棟**で病棟薬剤業務を実施していますか。※○は1つだけ

1. 実施している 2. 実施していない (→質問⑥へ)

【「1. 実施している」と回答した施設の方】

⑤-1-2 9週目以降も**療養病棟・精神病棟**で病棟薬剤業務が必要と思いますか。※○は1つだけ

1. 必要と思う 2. 薬剤によっては必要と思う
3. 医師の依頼 (同意) がある場合のみでよいと思う 4. 必要ないと思う
5. その他 (具体的に)

【「1. 実施している」と回答した施設の方】

⑤-1-3 9週目以降に病棟薬剤業務を実施することでどのような効果がありましたか。

※あてはまる番号すべてに○

1. 患者の薬に関する理解とコンプライアンスが上昇した
2. 医師の業務負担が減少した 3. 看護職員の業務負担が減少した
4. 薬剤関連のインシデントが減少した 5. 薬剤種類数が減少した
6. 医薬品費が減少した (後発医薬品の使用促進を含む)
7. 副作用の回避・軽減や病状の安定化が速やかに得られるようになった
8. 在院日数が減少した
9. 外来通院や在宅での薬物治療に移行できる割合が高まった
10. その他 (具体的に)

⑥平成26年10月時点において、**がん患者指導管理料3**の施設基準の届出をしていますか。※○は1つだけ

1. 届出をしている 2. 届出をしていない (→質問⑦へ)

【「1. 届出をしている」と回答した施設の方】

⑥-1 **がん患者指導管理料3**を実施する体制をとることによってどのような効果がありましたか。

※あてはまる番号すべてに○

1. 患者の薬に関する理解とコンプライアンスが上昇した
2. 副作用の減少、早期発見につながった 3. 医師の業務負担が減少した
4. 薬剤関連のインシデントが減少した 5. 処方提案の件数が増加した
6. 薬剤種類数が減少した
7. 患者のかかりつけ薬局との連携が深まり、円滑な薬学的管理に貢献した
8. その他 (具体的に)

⑦病院薬剤師として、どのような場合に、患者への服薬指導、処方提案等を実施すべきと思いますか。※○は1つだけ

1. 薬剤が投与されている全ての患者で実施すべき
2. 抗がん剤が投与されている患者のみで実施すべき
3. 特に管理が必要な薬剤が投与されている患者については実施すべき
4. 薬剤ごとに必要な場合に実施すべき
5. 医師等から依頼があれば実施すべき
6. 実施すべきとは思わない (その理由:)
7. その他 (具体的に)

【「3. 特に管理が必要な薬剤が投与されている患者については実施すべき」「4. 薬剤ごとに必要な場合に実施すべき」と回答した施設の方】

⑦-1 どのような薬剤が投与されている患者に対してこれらの業務が必要とと思いますか。 ※あてはまる番号すべてに○

1. 薬剤管理指導料「2」の算定要件となっている「特に安全管理が必要な医薬品」が投与されている患者
2. これまで患者が投与していなかった薬剤が投与される患者
3. 投与方法が難しい（説明が必要な）薬剤が投与されている患者
4. 多剤併用患者
5. その他（具体的に _____）

⑧平成 26 年 10 月時点において、**薬剤管理指導料**の施設基準の届出をしていますか。 ※○は 1 つだけ

1. 届出をしている
2. 届出をしていない

2. 薬剤師による、退院後の在宅療法等の関連状況についてお伺いします。

①貴施設では、平成 26 年 4 月以降、**退院時薬剤情報管理指導料**を算定していますか。 ※○は 1 つだけ

1. 算定している
2. 算定していない（→ 4 ページの質問②へ）

【「1. 算定している」と回答した施設の方】

①-1 平成 25 年 10 月と平成 26 年 10 月の各 1 か月間における、1) 退院患者数、2) 退院時薬剤情報管理指導料の算定件数をご記入ください。

	平成 25 年 10 月	平成 26 年 10 月
1) 退院患者数	人	人
2) 退院時薬剤情報管理指導料の算定件数	件	件

【「1. 算定している」と回答した施設の方】

①-2 退院時に薬学的な管理を実施することでどのような効果がありましたか。 ※あてはまる番号すべてに○

1. 居宅等での管理上の留意点や副作用の初期症状等に関して理解が深まった
2. コンプライアンス上昇により治療効果が高まった
3. 患者の退院後の薬学的管理の実施により、医師の業務負担が減少した
4. 患者の退院後の薬学的管理の実施により、看護職員の業務負担が減少した
5. 他の医療機関や薬局との連携が増えた
6. その他（具体的に _____）

【「1. 算定している」と回答した施設の方】

①-3 病院薬剤師として、退院時の薬学的管理業務をどのように実施すべきと思いますか。 ※○は 1 つだけ

1. 全ての患者に対して実施すべき（→ 4 ページの質問②へ）
2. 必要な患者に対して実施すべき
3. 医師等から依頼があれば実施すべき（→ 4 ページの質問②へ）
4. 実施すべきとは思わない
→（その理由： _____）（→ 4 ページの質問②へ）
5. その他（具体的に _____）（→ 4 ページの質問②へ）

【「2. 必要な患者に対して実施すべき」と回答した施設の方】

①-3-1 「必要な患者」とは具体的にどのような患者ですか。 ※あてはまる番号すべてに○

1. 特に安全管理が必要な薬剤が投与されている患者
2. コンプライアンスが低い患者
3. 多剤併用患者
4. 投与方法が難しい（説明が必要な）薬剤が投与されている患者
5. これまで患者が投与していなかった薬剤が投与される患者
6. その他（具体的に _____）

②貴施設では、平成26年4月以降、病院薬剤師による在宅患者訪問薬剤管理指導料等[※]を算定していますか。
※〇は1つだけ

1. 算定している

2. 算定していない(→質問③へ)

注. 「在宅患者訪問薬剤管理指導料等」には、「在宅患者訪問薬剤管理指導料」の他、介護保険における「居宅療養管理指導費」「介護予防居宅療養管理指導費」を含みます。

【「1. 算定している」と回答した施設の方】

②-1 在宅薬剤管理指導を実施することでどのような効果がありましたか。※あてはまる番号すべてに〇

1. 患者の薬識とコンプライアンスが上昇した
2. 患者の退院後の薬学的管理の実施により、医師の業務負担が減少した
3. 患者の退院後の薬学的管理の実施により、看護職員の業務負担が減少した
4. 他の医療機関や薬局との連携が増えた
5. その他(具体的に)

③病院薬剤師として、退院時の薬学的管理業務をどのように実施すべきと思いますか。 ※〇は1つだけ

1. 病院薬剤師が退院時薬剤管理指導と在宅患者訪問薬剤管理指導の両方を実施すべき
2. 病院薬剤師が退院時薬剤管理指導を行い、薬局薬剤師が在宅患者訪問薬剤管理指導を実施すべき
3. その他(具体的に)

【「1. 病院薬剤師が退院時薬剤管理指導と在宅患者訪問薬剤管理指導の両方を実施すべき」と回答した施設の方】

③-1 具体的にどのような患者で病院薬剤師が在宅業務を実施する必要がありますか。※あてはまる番号すべてに〇

1. 全ての患者
2. 特に安全管理が必要な薬剤が投与されている患者
3. コンプライアンスが低い患者
4. 多剤併用患者
5. 投与方法が難しい(説明が必要な)薬剤が投与されている患者
6. これまで患者が投与していなかった薬剤が投与される患者
7. その他(具体的に)

【在宅患者訪問薬剤管理指導料又は退院時薬剤情報管理指導料を算定していない施設の方のみ】

④在宅業務又は退院時薬剤管理指導に取り組んでいない理由は何ですか。※あてはまる番号すべてに〇

1. ニーズがない(医師からの指示や、その他の関係者からの相談を受けない)
2. 人員不足のため
3. 病院薬剤師(入院患者)と薬局薬剤師(通院・在宅患者)で機能分化をすべきであるため
4. 実施すべきだとは思いますが、診療報酬点数が低く採算が合わない
5. その他(具体的に)

3. 病棟薬剤業務や在宅患者訪問薬剤管理指導料等に係る業務について、ご意見等がございましたら具体的に書きください。

質問は以上です。ご協力いただきましてありがとうございました。

病棟票

平成26年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成26年度調査）

チーム医療の推進等を含む医療従事者の負担軽減措置の実施状況調査

- 特に指定がある場合を除いて、平成26年10月末現在の状況についてお答えください。
- 数値を記入する設問で、該当するもの・実績等がない場合は「0」（ゼロ）をご記入ください。

1. 当該病棟の状況についてお伺いします。

①病棟薬剤業務実施加算の算定の有無 ※○は1つだけ	1. 算定している		2. 算定していない	
②病棟種別 ※○は1つだけ	1. 一般病棟	2. 療養病棟	3. 精神病棟	4. その他（ ）
③診療科 ※混合病棟の場合、あてはまる番号すべてに○	1. 内科	2. 外科	3. 整形外科	4. 脳神経外科
	5. 小児科	6. 産婦人科・産科	7. 精神科	8. 救急科
	9. その他（具体的に ）			
④当該病棟の病床数	床	⑤当該病棟の 平均在院日数 ^{注1}		日
⑥平成26年12月8日～平成26年12月14日の1週間の入院延べ患者数				人
⑦上記⑥のうち特定入院料 ^{注2} を算定した入院延べ患者数				人
⑧上記⑦で算定した患者数が最も多い特定入院料 ※○は1つだけ				
0. 該当なし				
1. 救命救急入院料				
2. 特定集中治療室管理料				
3. ハイケアユニット入院医療管理料				
4. 脳卒中ケアユニット入院医療管理料				
5. 小児特定集中治療室管理料				
6. 新生児特定集中治療室管理料				
7. 総合周産期特定集中治療室管理料				
8. 新生児治療回復室入院医療管理料				
9. 一類感染症患者入院医療管理料				
10. 特殊疾患入院医療管理料				
11. 小児入院医療管理料				
12. 回復期リハビリテーション病棟入院料				
13. 地域包括ケア病棟入院料				
14. 特殊疾患病棟入院料				
15. 緩和ケア病棟入院料				
16. 精神科救急入院料				
17. 精神科救急・合併症入院料				
18. 精神科急性期治療病棟入院料				
19. 精神療養病棟入院料				
20. 児童・思春期精神科入院医療管理料				
21. 認知症治療病棟入院料				
22. 地域包括ケア入院医療管理料				
23. その他（具体的に ）				

注1. 転棟者の場合、当該病棟への入棟日（初日）を当該病棟への入院日とみなしてください。平均在院日数の計算にあたっては、当該病棟から退院等した患者のみについて集計してください。また、初日不算入としてください。

注2. 特定入院料：具体的には質問⑧を参照してください。

2. 当該病棟における薬剤師の病棟勤務状況についてお伺いします。

①当該病棟における薬剤師の平成 26 年 12 月 8 日～平成 26 年 12 月 14 日の 1 週間あたりの病棟薬剤業務実施加算に該当する時間（全ての薬剤師の合計時間） ※病棟薬剤業務実施加算を算定していない病棟であっても、当該業務に該当する時間を記入してください。病棟以外で実施する病棟薬剤業務実施加算の時間も含めてください。 ※常勤・非常勤、専任・兼任の別に関わらずご記入ください。	分
②上記①の期間中、当該病棟で病棟薬剤業務を実施した薬剤師数（常勤換算数）	人
③上記①の時間の内訳を該当する業務ごとに記入してください。	1 週間あたりの業務時間（分）
1) 医薬品の投薬・注射状況の把握	分
2) 使用している医薬品の医薬品安全性情報等の把握及び周知	分
3) 入院時の持参薬の確認及び服薬計画の提案	分
4) 2 種以上（注射薬と内用薬を 1 種以上含む）の薬剤を同時に投与する場合における投与前の相互作用の確認	分
5) 患者等に対するハイリスク薬等に係る投与前の詳細な説明	分
6) 薬剤の投与における、流量又は投与量の計算等の実施	分
7) 薬物療法プロトコルについて提案、協働で作成、協働で進行管理	分
8) 患者の状態に応じた積極的な新規・変更処方提案	分
9) 抗がん剤等の無菌調製	分
10) 他の医療スタッフへの助言や相談への応需	分
11) カンファレンスへの参加及び回診への同行	分
12) その他（ ）	分

④上記質問③の病棟薬剤業務を実施することでどのような効果がありましたか。※あてはまる番号すべてに○								
<table border="0"> <tr> <td>1. 患者の薬に関する知識とコンプライアンスが上昇した</td> <td>2. 医師の業務負担が減少した</td> </tr> <tr> <td>3. 看護職員の業務負担が減少した</td> <td>4. 薬剤関連のインシデントが減少した</td> </tr> <tr> <td>5. 薬物治療の質が向上した</td> <td>6. 患者のQOLが向上した</td> </tr> <tr> <td>7. 薬剤種類数が減少した</td> <td>8. その他（具体的に ）</td> </tr> </table>	1. 患者の薬に関する知識とコンプライアンスが上昇した	2. 医師の業務負担が減少した	3. 看護職員の業務負担が減少した	4. 薬剤関連のインシデントが減少した	5. 薬物治療の質が向上した	6. 患者のQOLが向上した	7. 薬剤種類数が減少した	8. その他（具体的に ）
1. 患者の薬に関する知識とコンプライアンスが上昇した	2. 医師の業務負担が減少した							
3. 看護職員の業務負担が減少した	4. 薬剤関連のインシデントが減少した							
5. 薬物治療の質が向上した	6. 患者のQOLが向上した							
7. 薬剤種類数が減少した	8. その他（具体的に ）							

⑤上記質問④の効果に影響を与える業務は何ですか。※あてはまる番号すべてに○
1. 医薬品の投薬・注射状況の把握 2. 使用している医薬品の医薬品安全性情報等の把握及び周知 3. 入院時の持参薬の確認及び服薬計画の提案 4. 2 種以上（注射薬と内用薬を 1 種以上含む）の薬剤を同時に投与する場合における投与前の相互作用の確認 5. 患者等に対するハイリスク薬等に係る投与前の詳細な説明 6. 薬剤の投与における、流量又は投与量の計算等の実施 7. 薬物療法プロトコルについて提案、協働で作成、協働で進行管理 8. 患者の状態に応じた積極的な新規・変更処方の提案 9. 抗がん剤等の無菌調製 10. 他の医療スタッフへの助言や相談への応需 11. カンファレンスへの参加及び回診への同行

⑤-1 上記⑤の業務のうち、効果に最も影響を与える業務を 1 つだけ選び、該当の番号を記入してください。	
--	--

⑥貴病棟では、上記質問③の 7)～10)に記載の業務（平成 22 年医政局長通知で薬剤師を積極的に活躍することが望ましいとされている業務）を実施していますか。※○は 1 つだけ		
<table border="0"> <tr> <td>1. 実施している</td> <td>2. 実施していない（→質問⑦へ）</td> </tr> </table>	1. 実施している	2. 実施していない（→質問⑦へ）
1. 実施している	2. 実施していない（→質問⑦へ）	

【2ページの質問⑥で「1.実施している」と回答した病棟の方にお伺いします】

⑥-1 質問③の7)～10)に記載の業務のうち、質問④で○をつけた効果に最も影響を与える業務は何ですか。

※○は1つだけ

1. 薬物療法プロトコルについて提案、協働で作成、協働で進行管理
2. 患者の状態に応じた積極的な新規・変更処方案の提案
3. 抗がん剤等の無菌調製
4. 他の医療スタッフへの助言や相談への応需
5. ない・わからない

【2ページの質問⑥で「1.実施している」と回答した病棟の方にお伺いします】

⑥-2 病院薬剤師として、質問③の7)～10)に記載の業務をどのように実施すべきと考えますか。※○は1つだけ

1. 全ての患者で実施すべき（抗がん剤の無菌調製は対象患者のみ）
2. 患者ごとに必要な業務を実施すべき
3. 医師等から依頼があれば実施すべき
4. 実施すべきだとは思わない

※以下の質問⑦～⑩は病棟薬剤業務実施加算を別途算定することができない患者のみが入院している病棟で病棟薬剤業務を実施している方のみお答えください。それ以外の方は4ページの質問⑫へ。

⑦算定している入院料（入院基本料、特定入院料等）のうち最も多いものを1つ教えてください。

（例：障害者施設等入院基本料、救命救急入院料、短期滞在手術等基本料 等）

()

⑧病棟薬剤業務を実施することでどのような効果がありましたか。※あてはまる番号すべてに○

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1. 患者の薬に関する知識とコンプライアンスが上昇した | 2. 医師の業務負担が減少した |
| 3. 看護職員の業務負担が減少した | 4. 薬剤関連のインシデントが減少した |
| 5. 薬物治療の質が向上した | 6. 患者のQOLが向上した |
| 7. 薬剤種類数が減少した | 8. その他（具体的に) |

⑨当該病棟は、病棟薬剤業務実施加算を算定することができませんが、なぜ実施しているのですか。※○は1つだけ

1. 病棟薬剤業務実施加算を算定している患者と同様に薬学的管理が必要であるため
2. 病棟薬剤業務実施加算を算定している患者以上に薬学的管理が必要な患者がいるため
3. その他（具体的に)

⑩病棟薬剤業務の実施はどのような点で重要だと思えますか。具体的にお書きください。

⑪これらの病棟でも病棟薬剤業務を積極的に実施すべきだと思いますか。※○は1つだけ

1. 全ての患者で実施すべき
2. 患者ごとに必要な業務を実施すべき
3. 医師等から依頼があれば実施すべき
4. 実施すべきだとは思わない
5. その他 ()

※ここからは療養病棟・精神病棟の方のみお答えください。それ以外の方は、質問は終わりです。

⑫5週目以降も病棟薬剤業務を実施していますか。 ※○は1つだけ

1. 実施している

2. 実施していない (→ここで終わりです)

【上記⑫で「1.実施している」と回答された方にお伺いします】

⑫-1 5週目以降も病棟薬剤業務を実施したのはいつからですか。 ※○は1つだけ

1. 平成26年3月以前から

2. 平成26年4月以降

⑫-2 現在、何週間実施していますか。 ※○は1つだけ

1. 8週目まで

2. 9～12週目まで

3. 13週目以降も実施

⑫-3 5週目以降に病棟薬剤業務を実施することでどのような効果がありましたか。 ※あてはまる番号すべてに○

1. 患者の薬に関する理解とコンプライアンスが上昇した
2. 医師の業務負担が減少した
3. 看護職員の業務負担が減少した
4. 薬剤関連のインシデントが減少した
5. 薬剤種類数が減少した
6. 医薬品費が減少した (後発医薬品の使用促進を含む)
7. 副作用の回避・軽減や病状の安定化が速やかに得られるようになった
8. 在院日数が減少した
9. 外来通院や在宅での薬物治療に移行できる割合が高まった
10. その他 (具体的に)

⑫-4 当該病棟において、上記⑫-3のような効果をもたらすためには、少なくとも何週目まで薬学的介入が必要だと思いますか。 ※○は1つだけ

1. 8週目まで

2. 9週目～12週目まで

3. 13週目～24週目まで

4. 25週目以降も必要

5. 介入は必要ない

6. その他 (具体的に)

⑫-5 9週目以降の薬学的介入の必要性についてご意見を聞かせてください。

質問は以上です。ご協力いただきましてありがとうございました。